

## 単元名 (旧)ほってすって見つけて(絵)

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 彫る部分を考え、彫刻刀の特性を生かして版をつくるなど、表し方を工夫することができる。  
 (2) 日頃の生活で印象に残ったことなどを思い出したり、想像したりしたことを基に、版に表したいことを考えることができる。  
 友達と制作過程での気づきを話し、できた作品を見せ合い、話し合いながら、表現のよさや工夫を感じ取ることができる。  
 (3) 彫刻刀を使う活動を楽しみながら、木版に表すことに取り組もうとする。

## 標準的な展開例

04080305\_001

【準備等】 版画用紙、版木、木切れ、彫刻刀、版画用具一式、水彩用具一式、サインペン、クレヨン、パス新聞紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 普段の生活の中で、心に感じたことや想像したことを考え、絵の構想を練る。</p> <p>○ 参考作品をみて、心に感じたことや想像したことを思い浮かべ、どんな場面にするか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ がんばったこと</li> <li>・ うれしかったこと</li> <li>・ 楽しかったこと</li> <li>・ 夢の世界</li> <li>・ 発見したこと</li> </ul> <p>★ 感じたことや想像したことを版画で表そう</p> <p>○ スケッチをし、版画にする絵の構想を練る。</p> <p>○ 版画の手順を理解する。        〈版画の基本的な流れ〉</p> <p>① 下絵…黒い部分と白い部分の構成を考えて下絵をかく        細かい部分は単純化する。黒白の割合は6対4ぐらいがよい。</p> <p>② 彫り…残すところと彫るところを決める。まず周りを丸刀などで彫り、絵の中心になる部分は線彫りをしていく。</p> <p>③ 試し刷り…ローラーにインクを付けて、何枚か刷る。</p> <p>④ 修正彫り…刷ったものを見て、彫りの修正を行う。</p> <p>⑤ 本刷り…インクの量を調節して、何枚か刷る。</p> <p>○ 画面構成を考えて、下絵をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一番かきたいもの</li> <li>・ 周りのものの様子</li> </ul> <p>○ カーボン紙を使って、版木に写す。</p> <p>2～4 下絵にそって、版木を彫り、刷りを行う。</p> <p>○ 彫刻刀の種類、正しい彫り方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 彫刻刀の種類</li> <li>・ 刀の持ち方、支え方</li> </ul> <p>○ 彫りの見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 残すところと彫るところ</li> </ul> <p>○ 彫りを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 彫る順序            周り（丸刀）→中心（三角刀で線彫り）</li> </ul> <p>○ 試し刷りをして、修正彫りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 刷りの手順</li> <li>・ 修正彫り</li> </ul> <p>○ 本刷りを行う</p> <p>5 作品を鑑賞し、よいところを話し合う。</p> <p>○ 作品を交換して、お互いの作品のよさをみんなで話し合う。（言語活動）</p>	<p>・ 教科書3・4下 P.46, 47</p> <p>・ 教科書の図版や参考作品を活用して、作品の意図やその表現について発表させる。</p> <p>・ 自分が体験したときに、どのように感じたのかを具体的に思い浮かべさせる。</p> <p>・ 思い浮かべたことを版で表せるように、細かいところはできるだけ省略させ、簡単にかかせる。</p> <p>【評】 版画のよさを感じ取り、心に感じたことを版画で表す活動を通して、「造形への関心・意欲・態度」を評価する。</p> <p>・ 事前や活動中に教科書P.52, 53「使ってみよう 材料と用具」を見るようにし、木版の仕組みを理解する。</p> <p>・ 1枚の版を、画面の中に繰り返し刷って作品に仕上げたり、版画を刷る前や後に絵の具やパスなどで彩色したりできることなどを確認し、自由な発想で木版画に向かうように意欲付けをする。</p> <p>・ 基の絵と刷り上がりの絵を同じ向きにしたい場合は、下絵の裏表を逆にして版木に写すとよい。</p> <p>・ カーボン紙の使い方は、教師が実演する。</p> <p>・ 表面に色の着いた版木を使用するか、水で薄めた墨汁を版木に塗っておくと彫り跡が分かりやすく、作業がしやすい。</p> <p>・ 彫刻刀は切れ味のよいものを準備させる。</p> <p>・ 丸刀と三角刀の使い方を中心に知らせる。</p> <p>・ 刀の進む方向に絶対に手や指を出さないよう指導する。軍手などをつけるのとけがの防止になる。</p> <p>・ 版木の裏などで、練習をさせる。</p> <p>・ 彫るところと残すところを分かりやすくするために、版木に薄墨や水彩絵の具などをぬって区別するとよい。</p> <p>・ 刷りの手順については、教師が師範をして見せる。</p> <p>・ 丸刀・三角刀を中心に彫り始め、慣れてきたら平刀も使うように伝える。</p> <p>【評】 彫る方向、彫る部分と彫り残す部分など見通しをもって効果的に表す活動を通して、「創造的な技能」を評価する。</p> <p>・ 刷り上がりの状況を確認させる。</p> <p>・ 紙を傷めないようにするために、新聞紙を紙の上に置いてから、バレンでこするようになる。</p> <p>・ 版がずれないように注意させる。</p> <p>・ インクの量を調節し、何枚か刷る。</p> <p>【評】 友達とお互いの作品のよさや面白さを伝え合う活動を通して、「鑑賞の能力」を評価する。</p>

【 備 考 】